

風力発電などの電力事業を積極的に拡大し、  
クリーンなエネルギーの供給に努めています。

資源の枯渇、エネルギーの安定供給、地球温暖化防止は、これからの社会の大きな課題です。  
コスモ石油は、総合エネルギー企業として、環境負荷のない純国産のエネルギー源として期待される、  
風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギー事業を積極的に展開し、  
社会課題の解決に貢献していきます。

### 新規ウィンドファームが稼働

コスモ石油グループは、1997年に保守・運用をともに担う日本で最初の風力発電専門企業として誕生し、2010年にグループの一員となったエコ・パワー（株）を中核に風力発電事業を展開しています。エコ・パワーはグループ化以来、風車の稼働率向上に努め電力の安定供給を図るとともに、新たな大規模風力発電所（ウィンドファーム）の建設に着手。2014年11月には、コスモ石油グループとなって初めて「広川・日高川ウィンドファーム」が完成し営業運転を開始しました。

広川・日高川ウィンドファームは、和歌山県の広川町と日高川町にまたがる白馬山脈の尾根部に位置し、計画に際しては環境アセスメントにより、尾根生態系への影響を把握し対策を行うとともに、丁寧な説明で地域住民の方々の理解を得るように努めました。エコ・パワーはこれからも風力発電によるクリーンエネルギーの供給を通して、循環型社会の実現に寄与していきます。



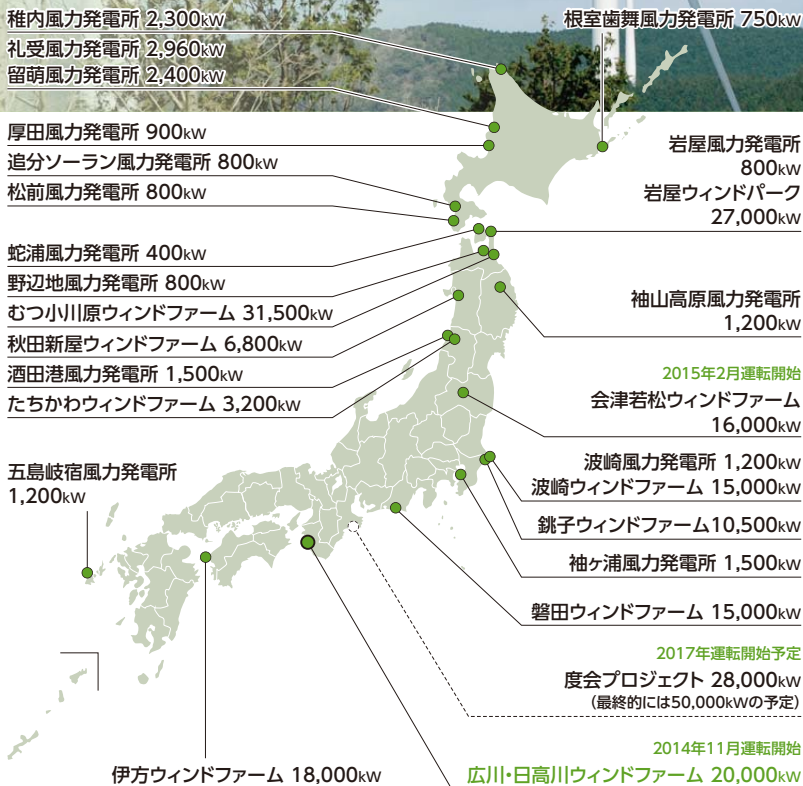
#### 広川・日高川ウィンドファーム

事業規模	2,000 × 10基 kW級風車
CO <sub>2</sub> 削減量	約 19,000 t-CO <sub>2</sub> /年
年間発電量	約 11,000 世帯分 年間使用量相当
原油削減効果	約 12,000 kl/年 (ドラム缶約 6万本)



## エコ・パワー風力発電所一覧

総発電容量182,510kW 発電機総数145基



CSDソーラー日立太陽光発電所

## メガソーラーが本格的に稼働

コスモ石油は2013年3月、昭和シェル石油、日本政策投資銀行と共同でCSDソーラー合同会社を設立し、大規模太陽光発電（メガソーラー）事業に本格的に参入しました。2014年にはCSDソーラー日立太陽光発電所をはじめとして5カ所のメガソーラーが、2015年6月にはCSDソーラー霞太陽光発電所が運転を開始するなど本格的に売電事業を推進しています。今後はさらに2カ所のメガソーラーを建設し、全国8拠点の総発電規模は約24,000kWになる見込みです。

### 主な発電所

2014年6月運転開始・発電容量 384kW  
CSDソーラー日立太陽光発電所（茨城県）

2014年7月運転開始・発電容量 1,229kW  
CSDソーラー徳島太陽光発電所（徳島県）

2014年7月運転開始・発電容量 573kW  
CSDソーラー大分太陽光発電所（大分県）

2014年10月運転開始・発電容量 1,188kW  
CSDソーラー谷山太陽光発電所（鹿児島県）

2014年11月運転開始・発電容量 1,966kW  
CSDソーラー福井太陽光発電所（福井県）

2015年6月運転開始・発電容量 4,608kW  
CSDソーラー霞太陽光発電所（三重県）

## 安全確実な保守で高い利用可能率を維持

廣川・日高川ウィンドファームは2014年11月の営業運転開始から5ヵ月が経過しました。発電も順調で、当社が目標としている利用可能率94%もクリアしています。今回、エコ・パワー初の試みとして、日によって風向や風速が頻繁に変わる日本の風土に対応した国産の発電機を導入しました。現在は発電機メーカーとともにデータを蓄積し、利用可能率のさらなる向上をめざしています。安全な稼働には保守点検は欠かせません。1ヵ月、半年、1年ごとの定期点検を確実に実施していくのはもとより、不慮の事故への対応も重要です。当社は保有するすべての発電機の運用状況をデータベース化しており、いざという時に、安全、確実、そして迅速に対応できる体制を整えています。

これからも利用可能率を高いレベルで維持し、電力の安定供給に努めていきます。

エコ・パワー株式会社  
廣川・日高川ウィンドファーム管理事務所

橋本 善和

